



### はじめに

22期生が入園して、1ヶ月が過ぎました。入園したころは、8名という学園生の人数に少し寂しさを感じていましたが、それも徐々に慣れ、むしろ8名が相手を選ばず仲良く遊んだり、活動したりしているうちに少人数ならではのアットホームな雰囲気が漂うようになり、これはこれで素敵だなと思うようになりました。

特に継続生が新入園生に対して、いろんなことを教えようとしている姿が随所で見られ、とても温かい気持ちになります。先日のデイキャンプの活動では、どのバディも新入園生&継続生という組み合わせで行いましたが、どのバディももれなく継続生が新入園生に対してマッチの使い方やかまどの組み方、火のおこし方やご飯の炊き方等をレクチャーしていました。それに対して新入園生も、教えてもらったことを素直に聞き、チャレンジしようとする姿勢が見られ、良い関係が作られつつあります。

もちろん、これから共同生活をする中で衝突することもあるでしょう。それも一つの経験です。ただ、今の学園の雰囲気をみる限りでは、そういったことも上手に乗り越え、1年後には一体感のある学園にあるのではないかと期待している今日この頃です。

大田市山村留学センター  
指導員 稲井 祐介

### 活動カレンダー

|             |          |          |            |
|-------------|----------|----------|------------|
| 4月25日(金)    | センター入り   | 3日(土・祝)  | 畑作業        |
| 27日(日)      | AM:親子ハイク | 4日(日・祝)  | 畑作業、めーめー会議 |
|             | PM:農家訪問  | 5日(月・祝)  | デイキャンプ     |
|             | 山菜採り     | 6日(火・振替) | 田植え        |
| 29日(火・祝)    | 代かき      | 7日(水)    | 農家入り       |
| 5月 2日(金・振替) | 茶碗作り     | 11日(日)   | 池田花田植え     |

## 親子行事（親子ハイク・農家訪問・山菜採り）

4/27（土） 晴れ

ゴールデンウィーク前半の始まりは、3週間ぶりに再会した保護者との親子ハイキングをしました。今年は、山口町内の約6kmをセンターや地域、島根県にまつわる問題を解きながら親子で歩きました。問題は、なかなか難しい問題が多く、保護者の携帯は頼ることはできないが、地域の人に出会えば聞いてもいいということだったので、子ども達は地域の人を見つけては分からない問題を教えてもらいに行っていました。この日は、絶好のハイキング日和で山口町内から見る景色はどれも絶景でした。

帰ってきたあと、みんなで答え合わせをして優勝した家族には豪華景品が贈られました。

親子ハイクが終わった後は、各農家に分かれて訪問をしました。子ども達が中心になって保護者を農家へ案内し、普段みんなが生活している場所や遊んでいるところなどを見せてもらいました。1軒の農家さんは都合によりご挨拶できなかったため、場所だけ確認した後、時間があったため、山菜採りに行きました。ハナイカダ、コゴミ、筍を採ってきて、夕食に天ぷらや和え物にして食べました。



## 代かき 4/29（火・祝） PM 晴れ

少し肌寒いこの日、徳原にあるセンターの田んぼで代かきをしました。みんなで1列に並び素足で田んぼに入り、足で土を踏んで細かくしていきました。ただ歩いているだけでは土が細かにならないため、「1・2, 1・2」と掛け声をかけて足踏みをしながら進みました。8人ではなかなか広い田んぼの為、途中弱音も吐いている子もいましたが、みんなで最後まで頑張りました。田んぼ全体を一通り踏み終えた後は、田んぼの中で土地が高いところから低いところへ土を寄せる作業をして、活動は終了しました。

活動後は、恒例のお楽しみの時間ということで、田んぼの中で泥んこリレーを行いました。風は冷たかったですが、みんな泥んこになってはしゃいでいました。



## 佐毘売山神社 春祭り神楽奉納見学 4/28(月) 晴れ

佐毘売山神社(三瓶町多根)の春祭り前夜祭で行われる多根神楽団の神楽奉納を見学に行きました。初めてみる子も何度も見ている子もみんな真剣に見ていました。多根地区の初めての集まりに参加した為、みなさんの前でも自己紹介もさせていただきました。帰りの車の中では、「あれ、格好良かったな」「今年は何やる?」「大蛇やりたいな」などと話が盛り上がっていました。



## 茶碗作り 5/2(金・振替休み) 晴れ

これから1年間、食事に使う自分の茶碗を作り温泉津焼きものの里にきました。今年は全て自由ではなく、お茶碗の形をしたものを目標に作ることにしました。少し自由度が下がりますが、その中でみんなそれぞれの創意工夫が見られ、個性溢れるお茶碗になりました。一緒に箸置きも作り、1か月度どんな作品になっているのか楽しみです。



茶碗作りの後は、仁摩健康公園でお弁当を食べ、そこにあるローラー滑り台やアスレチックで遊んだり、みんなで鬼ごっこをしたりして遊びました。その後、一年の時を刻む世界一大きな砂時計がある仁摩サンドミュージアムに見学に行きました。ここでは、展示を見たり、砂絵体験などをしました。そして、この日の最後は鳴き砂で有名な琴ヶ浜に行き遊んで帰りました。波打ち際で波と遊ぶ子、石や貝を探す子、各々に海を楽しみました。



## 畑作業 5/3 (土・祝)・4 (日・祝) 晴れ

ゴールデンウィーク後半戦2日間は畑作業をしました。まず野菜の苗を植えつけるため、畝たてマルチ張をしました。2人一組になり、最初に指導員にお手本を見せてもらい、その後は継続生が新入園生に教えながら作業を始めました。真っすぐ同じ幅で作ることがなかなか難しく何度か手直しをしながらもどの班も協力して立派な畝ができました。その後はみんな一人ずつの My 畑の畝



をたてました。今年は、比較的全員上手に畝をたてることができ、午前中で全部の畝がたて終わりました。次の日にはその畝にサツマイモ苗やトマト、きゅうり、ナス、ピーマン、スイカなど、いろんな野菜の苗を植えたり、種ものはポットに土を入れ種を蒔いたりしました。自分で管理する My 畑にも、それぞれが植えたいものを植えました。植えた後は風が吹いて苗が飛んだり折れたりしないように、仮支柱や行燈をつけまし

た。その時に使った竹は、みんなで徳原の竹林に行って刃物の使い方を学びながら自分たちで採ってきた竹を使いました。

これから、立派な野菜が収穫できるまでまだまだ色々な作業があります。畑作業を通して作物を作る苦労や、収穫の喜びを感じて欲しいと思います。



## めーめー会議 5/4 (日・祝) 晴れ

この日は地元で行われているめーめー会議というイベントに参加してきました。羊の毛刈りを見学し、そのあとハサミで少し刈り取る体験をさせてもらってその毛は各自持ち帰りました。その後工房の見学やバンド演奏を聞いたりして楽しませてもらいました。センターに戻った後はそれぞれ持ち帰った毛を教えてもらった方法で洗って干して大事に保管していました。



## デイキャンプ 5/5 (月・祝) 晴れ

センターの裏山で今年度初めてのキャンプ活動をしました。この日はお昼ご飯をペアで作って食べるデイキャンプをしました。今年度初めてということもあり、念入りにミーティングをしたあと、継続生中心に準備等も進めたあと裏山へ出かけました。裏山へ到着すると、注意事項を聞いた後、ペアごとに自炊する場所を決め、竈作り、薪拾いと始まりしました。どのペアも継続生が上手に新入園生に竈の作り方から薪の集め方、火の着け方まで丁寧にレクチャーしていたので新入園生は良い経験ができた様子でした。どのペアもさほど遅れることなくお昼までには2人で協力して、美味しいご飯を作ることができました。



## 田植え 5/6 (火・振替) 晴れ

代かき同様少し肌寒い日ではありましたが、今年も受入農家さんや推進委員の方々にご指導を仰ぎながら、約7畝の田んぼの約半分を手植えて、残りの半分は田植え機を使って田植えをしました。矢田の父さんに田植えの仕方を教わりみんなで田んぼに1列に並んで植え始めましたが、ばば引き(苗を植える目印をつける作業)も自分たちで行ったので、若干線がずれて植えにくい部分もありました。結果、なかなか真っすぐに進まないところもありましたが、隣同士協力し合って何とか植えきりました。苦労して手で植えた後に

田植え機を使って植えると、その速さに子どもたちも驚き、「機械はすごいね。僕これがいい」と言っている子もいました。広い田んぼでしたが、みんなで午前中のうちにすべて植えきることができました。作業後はみんなで田んぼのそばでおにぎり弁当を食べました。



## 池田花田植え 5/11 (日) 曇り

今年22年ぶりに行われる三瓶町池田地区の花田植えに参加しました。花田植えは歌や笛、太鼓を演奏する「田植え囃子」に合わせて苗を植え、豊作を祈願する行事だそうです。朝から会場に入ると、早乙女役の子ども達は着物を着つけてもらい、苗運びは法被に着替えました。最初慣れない着物姿に照れくさそうにしている子ども達でしたが、他の参加者の方も揃い、本番の説明を聞いている時には真剣な顔で聞いていました。本番は田植え囃子に合わせて植える早乙女も、苗がなくなったら渡す苗運びも上手に作業できました。貴重な体験をさせてもらいました。



＼４月になりました／

自宅の飯台の卓上に何十年前から「牛乳を注ぐ女（フェルメール）」のカードを置いていますが、新聞から切り抜いた４月ある日掲載の姉妹愛というタイトルの写真を追加しました。静ひつさを感じるフェルメールの絵のとなりが明るくなりました。春たけなわのなか、高校生の姉と小学生の妹と思われる２人の下校時のものでとても気に入っています。いろいろな想像ができます。下校時の妹がおそらく鍵盤ハーモニカを練習していて迎えに来た姉が声をかけ寄り添う、あるいは、姉に教えてもらいながら歩いて練習している妹といった一瞬をとらえたものです。その場に居合わせなくてもとても豊かな気持ちになります。実は、３月末までケースは違いますが同じ感情を得た体験があるので紹介します。

通勤途中、集団登校の小学生と時間が合うのでよく隣りを通ります。隊列の人数が年々少なくなるな、と思うことはしばしばですが、とあるすれ違いの隊列の最後尾の背の高い女の子の仕草がある時から気になってしまいました。おそらく隊列の順番は決まっているでしょうからわたしの記憶が正しければ、最後尾（副班長）の女の子のひとつ前は背丈から見て２年生か３年生の男の子でした。あるとき、最後尾の女の子の右手がこの男の子のランドセルに添えられている、もっと想像すると軽く押して歩行を促す姿を発見し、以来この登校班とすれ違うことを期待するようになりました。すれ違う幸運に恵まれても、その日は手が添えられていなかったり、位置取りや雨の日のレインコート姿で細部が見えなかったり、そもそもすれ違いの一瞬、ちょい見することがのぞき見のようで後ろめたさがあったりで細部を正確に把握することができないもどかしさもありましたがそれは仕方ないことだと割り切っていました。しかし、どう悪く見積もっても、「早く行きなさい」「なんで遅くなるの」といった気持ちがある手の添え方ではないと確信し、いつからか、その男の子は他人ではなく彼女の弟だったらという妄想までふくらみました。今でも不思議なのですがなぜか３月末までの集団登校班はマスク着用者が多く、くだんの女の子も男の子もずっとマスクをしていたので顔や表情がわかりません。春休みが終わり新学期の４月となりまた登校班とのすれ違いが始まりましたがあの隊列にいたあの女の子はいません。たぶん、３月までは小学６年生で４月に中学１年生となったのでしょう。あの男の子も隊列の中のどの子かわかりません。あの女の子は、中学校の制服を着てマスクをはずし同じ通学路を歩いているはずですが、どの子が詮索する気持ちはまったくありません。あのときのさりげくランドセルに手を添える一瞬の写真があればと思わないわけではないのですが、冒頭で紹介した姉妹愛の写真をみるとあの女の子のことを思い出します。彼女は中学生になっても他人に優しく接しさりげない気遣いができているはずだと確信しています。

## 「くにびき通信」2025年 第2号



大田市  
山村留学センター  
Sanbe Kodama Academy



大田市山村留学センター 公式ホームページ



〒694-0002 島根県大田市山口町山口1694

TEL: 0854-86-0700 FAX: 0854-86-0701 Email: o-sanryu@city.oda.lg.jp